

東京都脳卒中救急搬送体制に係る調査結果（速報値）

平成22年3月24日現在

【調査概要】

○調査対象：①医療機関：256施設（東京都脳卒中急性期医療機関、東京都指定二次救急医療機関）
②救急隊：233隊（東京消防庁、稲城市消防本部、東久留米市消防本部）

○調査期間：平成22年2月22日8：30から平成22年3月1日8：30まで
※いずれも救急隊覚知（119番通報）時刻

【回答状況】
○回答医療機関数 245施設（回答率：95%）
○回答救急隊数 233隊（回答率：100%）

1. 取扱件数

救急隊の判断	件数	医療機関の一週間後の確定診断		
		【再掲】医療機関が脳卒中と診断	【再掲】医療機関が脳卒中以外と診断	【再掲】医療機関未回答
脳卒中と判断	640件	357件	232件	51件
脳卒中以外と判断		61件		
		418件		

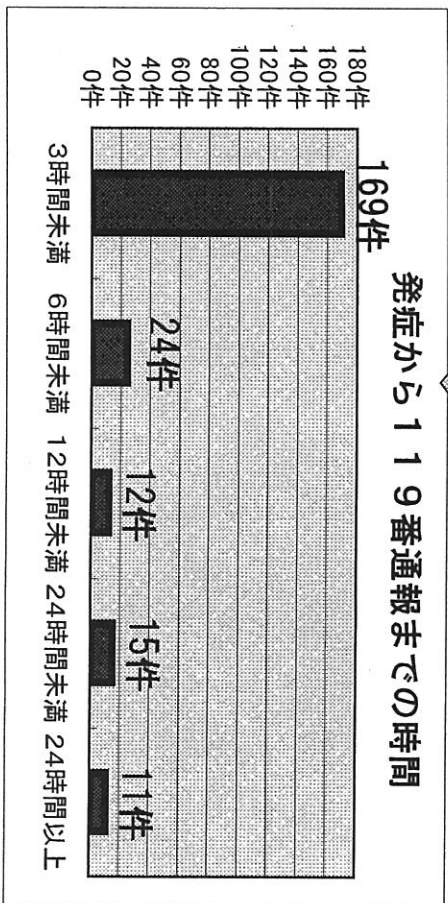
【参考】
調査期間中の全救急搬送事案：14,291件
（調査対象外の救急告示医療機関、都外医療機関等への搬送も含む）

医療機関が脳卒中と診断した全事案の85%は救急隊が脳卒中疑いと判断

2. 発症から119番通報までの時間

◆救急隊の判断：脳卒中疑い、医療機関の確定診断：脳卒中の事案
（ただし、計357件のうち、発症時刻が明らかな事案231件のみ対象）

発症時刻が判明している事案	発症時刻が不明の事案	合計
件数 231件	126件	357件
割合 64.7%	35.3%	100.0%



【平均時間】
3時間58分
※ただし、発症3日以上以上の事案（3件）は除く

脳卒中の徴候が発現した時から119番通報まで、1日以上経っている事案や発症時刻が不明の事案も散見される。発症後、迅速に119番通報するよう、普及啓発を行なう必要がある。

【参考】
○覚知から到着までの平均時間：40分
○平均医療機関選定回数：2.0回
○平均医療機関選定時間：8.8分

【注意】
○現在、発症時刻の確認を行なっているところであり、今後の確認結果によって数値が変動する可能性がある。
○転送事案も含んでいる。

3. 脳卒中種類別発症件数

脳卒中の種類	件数	構成比率
脳梗塞(TIAも含む)	260件	62.2%
脳出血	118件	28.2%
くも膜下出血	36件	8.6%
脳出血+くも膜下出血	1件	0.2%
未回答	3件	0.7%
合計	418件	100.0%

〔参考〕脳卒中急性期患者データベース(1999~2008) 確定診断の内訳

脳卒中の種類	構成比率
脳梗塞	75.4%
脳出血	17.8%
くも膜下出血	6.8%
合計	100.0%

*資料「脳卒中データバンク2009」(P. 23 図1)

4. 治療の実施件数(脳卒中確定診断 計418件)

◆今回の調査は脳卒中治療のうち、以下の治療についてのみ実施件数を調査した。

治療内容	実施件数	実施率
t-PA治療	22件	5.3%
脳血管内治療	11件	2.6%
脳外科手術	38件	9.1%
脳梗塞患者に対するt-PA治療の実施率	22件 / 260件	8.5%

〔参考〕脳卒中急性期医療に関するアンケート調査(262施設回答)

◆調査期間：平成20年8月1日~8月18日

脳卒中急性期患者の受入院患者数 (平成20年4月~6月)	【再掲】 t-PA治療を実施した 件数	【再掲】 脳外科的処置を 必要とした件数
7,821件	182件	1,239件
	実施率 2.3%	15.8%